

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年7月24日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年7月24日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【6号機タービン補機冷却海水系熱交換器(A)の入口管ベント弁フランジの腐食及び漏えいについて】 タービン補機冷却海水系熱交換器(A)の入口管ベント弁フランジの腐食及び当該部からの海水漏えい(一滴/5秒)を確認。 漏えい箇所をテープで巻き袋を被せ養生したところ、漏えいはにじみ程度に減少。 今後、点検修理予定。	GⅢ	7月19日
2	【3号機燃料取扱用クレーンからの作動流体の漏えいについて】 3号機ガレキ撤去作業において、クレーンの補巻先端部へ繋がるホースのリール部から作動流体(水グリコール)の漏えいを確認。 作動流体供給弁を閉止し、漏えいは停止。 今後、点検修理予定。	GⅢ	7月21日